



朝来市地域おこし協力隊レポート

2021



- | | |
|-----------|-------------|
| MEMBER 1. | 米田 育子 |
| MEMBER 2. | 崎山 祥 |
| MEMBER 3. | 北川 修平 |
| MEMBER 4. | Charles Chi |
| MEMBER 5. | Kevin Nel |
| MEMBER 6. | Rehan Nel |





五感を通して四季を感じられる生活の中で取り組む 子育てと農業 そして山の暮らしの伝播者へ

集落の世帯数が約10世帯、糸井地域の山の中腹にある朝日区に、ご家族5人で移住した米田さん。都市部で子育てをしていた中で、自然が多い地方での暮らしに興味を持ったという。そんな時、田舎暮らしの雑誌で特集されていた、朝日に住む大森さん一家の山の暮らしを知り、強い感銘を受ける。その雑誌を見た直後に、友人である朝来市協力隊OBの金丸さんから、朝日での地域おこし協力隊の募集を紹介された。「あまりの偶然にびっくりして運命を感じました。」これをきっかけに、朝来市協力隊への応募を決意した。

都市部から、またご家族での移住とあって大変な1年だったと思うが、「私、山にいる時、一番テンションが高いんです。」と笑顔で言う米田さん。住んでみて一番気に入っているのは「五感を通して四季を感じられること」。厳しい自然との暮らしの中に、価値を見出して日々を送っている様子は、他の協力隊員にも自然の中で暮らす幸せを伝播している。

ミッションの一つは、朝日の耕作放棄地の整備。着任から数年使われていなかった田畑を耕し、米や野菜作りに挑戦している。本格的な農業はもちろん初めて。家族とともに師匠の大森さんや地域の人に教わりながら、無肥料無農薬で栽培できることに驚きと喜びを感じた。出

来上がった野菜は、作物が本来持っているおいしさに満ちていて、子どもたちも大好物だ。

もう一つは、朝日の暮らし体験のイベントを開催し、地域のファンや関係人口を増やすこと。背伸びしない、ありのままの暮らしを体験できる場になればと、昨年「お試し朝日体験会」を開催した。イベント拠点となる自宅や周辺の整備も進めている。まずは、自分自身が山での暮らしに慣れて、安心して暮らせるようにと、雑草や笹藪（ささやぶ）まみれになっていた周囲を計画的に刈り、拠点の範囲を広げた。任期修了後の目標は、朝日での暮らしを続け、山の暮らしを深めていくこと。そして、山の暮らしを体験できる農家民宿を開くこと。高い目標だが、その分やりがいがあると感じている。

「最近嬉しかったことは？」という質問に「烏骨鶏を飼いはじめて大家族になったこと。」と笑顔の米田さん。自宅には、甲斐犬、トラ猫もいて、あとロバがいればまるでプレーメンの音楽隊だ。動物たちも山での暮らしを伸び伸びと楽しんでいる。「つらい時も嬉しい時も、家族の支えがあってこそ。」日焼けした笑顔はいつも前向きではつつつとしている。一步一步着実に、目標に向かって歩みを進めてほしい。

米田 育子 Ikuko Yoneda



〈profile〉

「自然の中での子育て」に興味を持ちいろいろな体験会に参加していく中で、この非日常を日常にしたい、という気持ちが強くなり糸井地域朝日区での地域おこし協力隊に応募する。米や野菜を自然農法で自給自足し、自然の中での暮らしを体験できるゲストハウスの開設を目指す。保育士で三児の母。家族5人で兵庫県稲美町から移住。



持ち前の『デザインの力』でチームや地域を活性化する 絶妙なパス回し 地域の若者よもっと出てこい！

崎山さんは、おしゃれで都会的な雰囲気、気の若者だ。明るくて好奇心が旺盛で、結構思ったことをはっきり発言する。それでいて、人に嫌な気持ちを与えないから、場全体が温まって会話が弾む。サッカーで例えるなら、ゴール前にも果敢に飛び出すし、相手ボールのときはしっかり対応する、元気なサイドハーフという感じだろうか。攻守両面、老若男女にわたって活躍できる好青年だ。

崎山さんは兵庫県姫路市の出身で、京都の大学でデザインを学んだ。その後、東京のデザイン会社勤務を経て朝来市地域おこし協力隊に就任する。「デザインのチカラで、地方を元気にするような事業を始めたいと思いました」と崎山さんは言う。就任から1年間、そのスキルをフルに活用し多くの作品を送り出した。中でも印象的な仕事は、朝来市のふるさと納税返礼品となる商品のデザインをコンセプトから発案し作り上げたこと。地元企業である（株）多田スミスのアルミダイカスト技術とのコラボで作られた新商品は、クールで洗練されており、人気の返礼品になると思う。

もちろん、他の協力隊メンバーの活動とも連携している。同じ大蔵地域自治協議会に配属されている北川さんとは、電話で1時間半も悩みを話し込むほどの関

係だ。鹿肉の精肉で開業を目指す北川さんを、SNSの立ち上げや店のロゴデザインで支援した。それぞれの得意分野を活かして、チームで進んでいけるのも「あさこいひと」の特徴だ。今後もコラボ事業が企画されているそうなので、それらが実を結んでいくのが待ち遠しい。

崎山さんのミッションで目下の課題となっているのは、地域の若者を活動に誘い込むこと。「若者が表に出てこない」ことにとても驚いたそう。みんなでワクワクしながら、楽しいことに取り組む機会を作れたらと、最近はクラフトビールの研究も始めた。

「まずは少しでも朝来市のエッセンスを入れたビールを、OEMで作るところからスタートしたいです。」

材料選びや発注、テイスティングなどの過程で、地域の若者が惹きつけられ、仲間が増えていくことを期待したい。

奇しくもケビンとレハンを含めてメンバー中で半分がデザイナーという2022年の朝来市地域おこし協力隊。この不思議な運命もうまく乗りこなして、みんなが気持ちよくデザインの仕事を受けられるような環境を作って欲しいし、多くの地方で働きたいデザイナー達を朝来市に呼び寄せて欲しいと思う。



崎山 祥 Syo Sakiyama



〈profile〉

先に朝来市へ移住をしていた姉の影響もあり、地域おこし活動に興味を持つ。大学でプロダクトデザインを専攻し、デザインのコンペティションで最優秀を受賞したことも。東京でのデザイン会社勤務を経て、大蔵地域での協力隊活動に臨む。若者の主体的な活動を、デザインのチカラで引き出す。単身で移住。

和田山町エリア
大蔵地域自治協議会 所属
2021年着任



和田山町エリア
糸井地域自治協議会 所属
2021年着任



北川 修平

Shuhei Kitagwa



家族や地域からの熱い声援を受けて 「食と命」を伝える鹿肉ジビエブランドの設立

見た目はとてもマッチョな北川さんであるが、実際に接しているとその印象が随分変わる。話していてもこちらの言葉をとても柔らかく受け流したり、ちょっと突っ込んでくれたり、初夏の穏やかな陽光を受けながら、ゆらゆら揺れる波の上をただよっているような気分になる。大阪で長年、カスうどん兼居酒屋を経営されていたこともあるのだろうが、阿倍野仕込みの「聴き上手」は一級のものだ。

北川さんは、学生時代からの友人である朝来市協力隊OBの高田さんを通じて、朝来市のこと、地域おこし協力隊のことを知った。以前から、お店でお客さんに完成された料理を提供する中で「食材を生産する」ということに興味を持っていたそうだ。そんな時にコロナ禍となり、いよいよその思いを強くした。思い切って奥さんに相談したところ、「やりたい事やったらええで、応援するわ」と背中を押してくれた。そして、地域おこし協力隊への応募を決意する。

当初は高田さんの事業である鹿肉の精肉作業を手伝ったり、地元農家さんのニンニク栽培、稲作などを手伝ったりしていたが、市内の猟師さんが鹿肉を供給してくれる量と、鹿肉を売ってほしいというニーズにまだ余裕があると感じ始める。そ

んな折にこれまたOBの吉原さん（現在は朝来市観光協会に勤務しながら猟師として活躍中）から、吉原さんが運営していた獣肉の精肉所を引き継がないか、と持ち掛けられた。話はとんとん拍子に進み、地域の皆さんの熱い応援もあって、食材を生産する側としてスタートを切ることができた。

そしてとても「縁」を感じる出会いではあるが、大蔵地域自治協議会にもう一人、同じ時期に崎山隊員が配属した。今まで、朝来市では同じ自治協議会に同時に二人の隊員がいたことは無く初めてのケースになるため少し心配もあったが、年の離れた兄弟のような仲の良さでお互いの活動を助け合っている。デザイナーである崎山さんと話をする中で、「食と命」をコンセプトにして鹿肉ジビエブランドを立ち上げよう、ということになり商品名を「但鹿－TAJIKI－」として売り出していくことに決めた。

「北川君は、何か最初から上手いこといきすぎて、ちょっとせこいですよね」と、高田さんは友人のことを笑いながら評する。ここで言う「せこい」は関西人がよく使う「羨ましい、ずるい、」というニュアンス。一年目からスタートダッシュの北川さんには、これからも人徳を活かして躍進していただきたい。

食べることが大好きなアメリカの好青年 美しい自然環境の中で食べられるご当地バーガー制作

チャールスさんはカメラを向けるといっても最高の笑顔でポーズをしてくれる、まさしく映えるアメリカ人青年だ。2020年に開催した「朝来市地域おこし協力隊体験会」で初めて出会ったのだが、自己主張よりも周囲を気遣う、気さくで話しかけやすいというキャラクターである。なにより、食事をとてもおいしそうに食べていたのが印象深い。野菜やお肉はもちろん、アマゴなどの川魚も好き嫌いなくたいらげる姿はとても気持ち良かった。そして印象にたがわず、ご当地ハンバーガーを作って「道の駅あさご」を元気にしたい、という彼からの提案を聞いた時には、「やはり食べることが好きなのか」と私も嬉しくなってしまった。

チャールスさんはカリフォルニア州の出身で、お母さんは韓国レストランのチーフシェフをされている。おいしい食事で育った彼が、食に関心が深いのもうなずける。地元の大学を卒業した後、両親の出身地である韓国で英語講師をした後に、ALT（外国語指導助手）として洲本市に赴任する。その際に、姫路市でALTをしていた現朝来市地域おこし協力隊のケビンさんと知り合う。サイクリングという共通の趣味を持つ二人は意気投合し、各地を自転車で巡る友人となった。一年先に協力隊として活動していたケビンさんに誘われて体験会に参加するが、本気で応募しようと決意したきっかけは朝来市の美しい自然環境だった。

I enjoy the beautiful natural landscape.
(朝来市の美しい自然の風景を満喫している)

休日にはサイクリングやジョギングに

出かける。中でも一番のお気に入りには多々良木で、ダムに向かって自転車を走らせると、周囲に溶け込んだアート作品が迎えしてくれるのが楽しい。多々良木ダムからの景色も素晴らしい。「道の駅あさご」に訪れたお客さんを、多々良木でのサイクリングやウォーキング体験に繋げることができないか、と考案中である。

ご当地バーガーについても順調に滑り出している。竹炭パウダーを生地に練りこんで黒く焼いたバンズに、カリッと香ばしく焼いた但馬牛のパテをはさむ「鉱石バーガー」を開発した。カリフォルニア風にパテを鉄板に押し付けてスマッシュするのが特徴だ。道の駅で不定期販売しているが、今のところまずまずの売り上げ。いろいろな意見を聴きながら朝来市の名物に仕上げていけたらと考えている。また、このほかにも地元の特産品を使ったバーガーを開発できないかと模索中。サイクリストにも人気が高いご当地バーガーは、きっと道の駅活性化のTrigger（起爆剤）になってくれるはず、と期待が止まらない。



Charles Chi

チ・チャールス



〈profile〉

大阪で飲食店を経営していたが、コロナ禍での都市生活に疑問を持ち移住を決意。地域の猟師や農家の方、食品加工をされている方に教えを請い、得意の料理で地域の食材を使った新しいスペシャリティ作りを目指す。将来は大阪から妻と子どもたちも呼び寄せ、家族での定住をかなえたい。大阪市阿倍野区から単身で移住。

〈profile〉

アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス出身。カリフォルニア州立大学心理学専攻。卒業後、韓国で英語教師を経て、洲本市のALT（外国語指導助手）として来日。朝来市の観光資源や自然環境に魅了され、協力隊に応募。「道の駅あさご」にて情報発信やメニュー開発等を行い、国内外のマーケットに積極的にPR、外国人観光客の誘客を行う。

朝来町エリア
朝来地域自治協議会 所属
2021年着任



和田山町エリア
大蔵地域自治協議会 所属
2021年着任



Kevin Nel

ケビン・ネル



言葉の壁をものとしめない実行力と多彩な技術 サイクリング、写真、旅・・・ 自身の趣味は壮大な観光事業へ

南アフリカという遠いふるさとを離れ、朝来市に住むことを決めた双子の一人、ケビンさん。サイクリング、写真、旅、車など多彩な趣味も持ち合わせ、同じ趣味を持つ弟のレハンさんと充実した日々を送っている。

初めて朝来市に訪れたのは、趣味のサイクリング。山と川に挟まれた美しい街並み、住宅地の間を移動する赤いバンタン列車が印象的だった。その後、古い鉱山や馬車道の歴史、出会う人々の良さに魅せられ、朝来市に赴任。フレンドリーな優しい人柄で、朝来市で知らない人はいないほどの有名人である。仕事となると真摯に取り組む、素晴らしい技術とアイデアでみんなをあっという間に驚かすケビンさん。着任後は、言葉の壁をものともせず、地域の皆さんとともにミッションに取り組んできた。

ミッションの一つは、朝来市にサイクリング観光の拠点を設立し、観光客向けにレンタサイクルやガイド付きサイクリングツアーを提供すること。インバウンドの再開を念頭に置いて、手ぶらで訪れたお客さんも自転車で市内の見どころに結ぶ計画だ。サイクリングで朝来市を巡る楽しさを、「Asago_Cycling / #cycle_asago」プロジェクトとして国内外に発信し、SNSのフォロワー数も順調に増えている。昨年は、「道の駅あさご」を拠点としたサイク

リングイベントを開催し、trial and error（トライアル・アンド・エラー）で内容の改善も行った。初心者の方でも楽しめる電動自転車のツアーも考案中だ。地域の方々や自転車好きの友人、朝来市観光協会、旅行会社の社長と市内の賛同者もどんどん増えてきた。新型コロナウイルスの収束がとても待ち遠しい。

もう一つのミッションは、工業デザイナーというスキルを活かした鉱石の道の土産物開発だ。3Dプリンターでデザインから製作まで一人で行い、いくつかのお土産を商品化した。新たな商品も開発中であり、完成が楽しみだ。

観光のミッションはインバウンドの復活がままならない状況もあり、思うようにいかないことも多い。「私が困難に直面したとき、職場の同僚や地元の人たちがどれだけ助けてくれるか、いつも驚かされています」。これまで朝来市に無かった新しいシステムの導入は、一朝一夕ではいかないうハードルがいくつもあつた。「朝来市を支援するためのアイデアやミッションは、まだまだたくさんある。これからも、この想いを続けたい。」と話すケビンさん。現在は退任後に向け、観光振興や地域住民の支援を行う法人の設立を目指している。今後も朝来市発ワールドワイドな活躍を期待している。

双子の個性がひかる観光事業 鉱山社宅を利用した ゲストハウス「Ikuno Stay」は兵庫県内で最も高い評価を得る

ネル兄弟は二人とも背が高くて、シュツとしていて、スタイルも服の趣味も上品で、何もかもがよく似ている。もちろんツイングなので、初めて出会った人たちは「よく似ているからどっちか分からない」という感想になるが、しばらく付き合うと二人のキャラクターが際立って違うので、反対に間違える方がおかしいと感じるようになる。ジョンとパールの歌声を聞き分けるぐらいに明白で、二人とも素晴らしい才能にあふれている。

レハンさんは、理知的で思慮深くて沈着である。話すことも豊富な知識に裏打ちされていて、「ほお、なるほど」とうなずかされることが多い。でもそれでいて冗談をちょいちょい会話に織り交ぜてくのが、彼のユニークなところだ。レハンさんは兄弟のケビンさんとともに南アフリカで育ち、大学では工業デザインを専攻する。卒業後は二人でデザイン事務所を起業し順調に経営するものの、ALTとしての訪日のチャンスが舞い込んだ。日本の自然や文化に関心が深かったこともあり、家族とも相談の結果日本に行くことを決断する。札幌で3年間ALTとして勤務した後に、朝来市で地域おこし協力隊に就任した。

We both became interested and it seemed to be a new challenge.

（二人とも朝来市の取組みに興味を持ち、新しいチャレンジができそうだったんだ）

朝来市と一緒に地域おこし協力隊にならないか、と誘ったのはケビンさん。生野地域で空き家をゲストハウスにし、観光業に取り組むというミッションに可能性を感じた。

着任後は精力的に活動を開始し、1年後にはゲストハウス「Ikuno Stay」をオープンさせた。数か月で週末の予約はほぼいっぱいになり、予約サイト「AirBnB」では兵庫県で最も評価の高いゲストハウスの一つに選ばれるまでになった。

レハンさんはこれらの成果を朝来市民の心の大きさとホスピタリティにあると言う。生野地域の人はもちろん多くの市民が、言葉や文化の壁があるのに、彼のことをサポートし、理解しようとしてくれる。ゲストハウスの事業も地域の皆さんの努力なしには実現できなかった。

宿泊事業の継続や在留資格のことなど課題は多いけど、一つ一つクリアしていったら、ケビンさんとともに朝来市に住み続けたい、とレハンさんは言う。14,000km離れた国からやってきた二人が、自分らしく楽しく暮らしていける「まちづくり」を、私たちは目指さないとはいけないと思う。

Rehan Nel

レハン・ネル



〈profile〉

南アフリカ共和国出身。ヨハネスブルグ大学工業デザイン専攻を卒業後、デザイナーとして活躍。その後、姫路市でALTとして3年間過ごしたのち、2020年8月より朝来地域自治協議会に就任。朝来地域にある日本遺産「鉱石の道」や産業遺産「神子畑選鉱場跡」などの活用および魅力発信が主なミッション。

〈profile〉

南アフリカ共和国出身。ヨハネスブルグ大学工業デザイン専攻を卒業後、デザイナーとして活躍。その後、札幌市でALTとして3年間過ごしたのち、2020年8月よりいくの地域自治協議会に就任。いくの地域の文化的景観の保全と空き家の利活用が主なミッション。

生野町エリア
いくの地域自治協議会 所属
2020年着任





藤岡 勇さん 朝来市長



【地域おこし協力隊員へのメッセージ】

協力隊の皆さんが人生の岐路で朝来市を選び、共に地域をつくる仲間になってくださったことを大変嬉しく思っています。また、地域の皆さんが協力隊の協力隊となり、隊員を支えてくださっていることに深く感謝します。悩みや不安があれば、遠慮なく担当職員に相談してください。皆さんが新しい価値観や発想で地域づくりにいきいきと邁進する姿に、私たち也大いに刺激を受けています。皆さん一人ひとりの活動が、新たな仲間や地域を結び、朝来市で発展していくことを楽しみにしています。共に頑張りましょう。



谷川 麗子さん 朝来市役所



【ネル・レハンさんについて】

レハンさんは、公私ともに周囲にもとても真摯に向き合う方。自分に課した役割を冷静に分析し、朝来市の「今」だけでなく「未来」に向けて、積極的に持続可能な取り組みを進める姿には、こちらも学ぶことがたくさんあります。そんな彼と日本語支援を通じて約1年半が経ちますが、彼の職場は初日から容赦ない方言の嵐。良い意味で遠慮のないこの環境に、どんどん彼が家族のように馴染んでいく様子を見るのが一つの楽しみとなっています。



ルンブ・レティシアさん 朝来市役所 / 国際交流員



【ネル・ケビンさんについて】

ケビンと初めて出会ったのは、地域おこし協力隊の面接で通訳補助をした時でした。その時からはや2年になります。長いお付き合いになりましたね。ケビンの足が長いお陰かもしれませんが（笑）ケビンは着任当初から言葉の壁を乗り越えて、朝来地域を活性化するためのサイクリング観光構想を提案し、地域の皆さんを感動させていました。今後も地域の皆さんと協力して、「訪れたい、住みたい、朝来市」をともに創っていきましょう。



小川さんご夫妻 大蔵地域自治協議会



【北川 修平さん・崎山 祥さんについて】

今年度は大蔵地域に二人の協力隊がやってきてくれました。「デザインで朝来を元気に」といろんなことに興味を持って積極的に取組む崎山さん。若い発想やデザインに驚かせてくれることが多いです。そして、飲食店経営の経験を生かし、任期1年目から鹿肉工場の事業を立ち上げた北川さん。仕事で関わる猟師さん達との信頼関係も大事に築いています。それぞれの活動は違いますが、二人一緒だと1+1以上の効果を発揮して、大蔵に新鮮な風を吹かせてくれています。二人の人柄に魅かれる地域のファンも多いですね。大蔵地域は協力隊の活動を応援しています。大蔵地域の枠だけにとどまらず、若い人達の声をどんどん引き出して、焦らずに夢の実現に向け取組んでほしいです。



大森さんご夫妻 糸井地域



【米田 育子さんについて】

育子さんは、地域の方と積極的にコミュニケーションをとり、良い関係を築かれています。今年は大雪の影響で除雪の作業が大変でしたが、米田家のお陰で地域も大変助かりました。山の暮らしのペースをつかむには、時間が必要です。焦らずに田畑を楽しみながら、朝日の暮らしを深めていってもらいたいですね。都市部をはじめ様々な地域の方が山の暮らしを体験できる農家民宿の実現に向け、私たちも全力でサポートしていきたいと思っています。



「道の駅あさご」のみなさん



【チ・チャールズさんについて】

チャーリーはとても勉強家で、厨房の仕事を頑張っています。最初は、日本語が通じなかったらどうしよう、と思っていましたが、彼も熱心に伝えようとしてくれるし、私たちの話を聞き取ろうと努力してくれます。最近ではスマートホンもあるので、実物の写真を見せてくれたり、どうしても難しい単語は翻訳のアプリを使ったりしてやり取りできるので、今は彼が来る日をみんな楽しみにしています。おいしいハンバーガーを作ろうと、彼も私たちも情熱を注いでいますので、ぜひ食べに来てくださいね。



岡野 未希

Miki Okano | 2014 - 2017

ご無沙汰しております。私は今、国際支援の現場で働いています。下っ端の下っ端ですが、昔学んだ国際関係の授業がまさに目の前で繰り広げられているといった現場です。ここにも、生野や朝来市で出会った方々のような、熱い真剣勝負をされている人達がいいます。真剣勝負と言えば志村喬。志村喬記念館の皆様のお手伝いも少しさせてもらいつつ、生野高校の先生方ともオンラインで引続き一緒に活動させてもらっています。今年こそ、皆さんに会いに行きたいです。



加藤 貴之

Takayuki Kato | 2014 - 2017

2021年11月から朝来市市議会議員を仰せつかっております。朝来市に移住して7年。まちづくりに真正面から取り組みたいと思いチャレンジです。移住者の立場、若者の視点で、毎日がワクワクする楽しい朝来市を作っていきます。積極的に地域に飛び出し、対話を大切にしています。協力隊時代から続けている「ふれあい屋台」も継続。塾や家庭教師も行っています。趣味の俳句では朝来の四季を詠んでいます。



加藤 菜穂子

Naoko Kato | 2014 - 2017

協力隊卒業後、開業して4年目を迎えます。少しずつ自分のやりたい事を形にでき充実した日々を過ごしています。美味しい紅茶の淹れ方やお菓子づくりの研究を重ねて皆さんに喜んでもらえるお店づくりに励んでいます。写真はおすすめ商品のアフタヌーンティーセット。華やかさとランチに利用しやすいようにバランスを考えました。紅茶との相性も抜群です。ぜひ食べに来てくださいね。



篠原 諒太

Ryota Shinohara | 2014 - 2017

2021年の話題といえば2人目の子供が産まれ、家を購入しました。仕事はコロナ禍の影響を受けながらもデザインや情報発信のお仕事を中心に、県立生野高校で地域教育コーディネーターとしても5年目を終えようとしています。協力隊当時に「あさご高校社会活動部」に参加してくれていた高校生たちが全員成人を迎え、社会人として市内外で活躍しています。夢を叶えていく彼らに、まだまだ負けてられない！と張り合っていこうと思います。



松木 祥平

Syohei Matsuki | 2014 - 2017

朝来市に移住してから、7年目。(一社)兵庫県地域おこし協力隊ネットワークの代表理事も任期2年目となりました。また、今年は、兵庫県の地域再生大作戦の取り組みのひとつ「ふるさと応援コーディネーター」として、上八代地区で活動いたしました。朝来市内でも、取り組む事業が増えて、忙しくも楽しい日々です。



吉原 剛史

Tsuyoshi Yoshihara | 2014 - 2017

コロナ禍を機に、自身の語学力と海外での経験を活かすために朝来市観光協会で働くことになりました。収束後を見据えて、受け入れ態勢を整えるべく動いております。また、週末は有害鳥獣駆除や狩猟に勤しんでおります。鹿肉施設は後輩の北川くんを引き継いでもらいましたが、協力し合って特産品として確立できるようにしていきたいです。



佐竹 鑑

Akira Satake | 2015 - 2018

朝来市に来てからもうすぐ7年、コロナで世の中はいろいろと変化しましたが、比較的穏やかに暮らせているなあと感じています。2021年でちょっと嬉しかった事といえば、1年半前に仕込んだ原木マイタケが発生したことでしょうか。原木マイタケは、てんぶらにさせていただきました。自分で食べたいものを自分で作る喜びを、もっと増やしていきたいと願う、今日この頃です。



高田 尚希

Naoki Takada | 2015 - 2018

2022年も変わらず夫婦でジビエの生業に励んでいます。昨年から、友人の北川君が大蔵で『但鹿』を始めました。競い合い、助け合いながら、共に頑張っていけたらと思っています。そういえば、昨年、バイクの免許を取りました。市内で楽しそうにバイクに乗っているのを見かけたら僕なので手を振ってくださいね！



中島 英樹

Hideki Nakashima | 2015 - 2018

近況として一番大きな出来事は二人目となる子供が生まれたことです。成長の過程で徐々に生活リズムが変わっていくところなのでしばらくは睡眠不足が続きそうですが元気にしています。正直なところ、移住してきた当初は自分に子供が二人も生まれるとは思っていませんでした。朝来市というまちで子育てをする中で、改めて自然が豊かであることや子育ての支援があることがありがたいと思っている最近です。



西村 大輔

Daisuke Nishimura | 2015 - 2018

子供たち3人は、朝来でのびのび育ってます。長男は私の影響をかなり受け、農業や生態系に興味をもつようになりました。これから3人が何を好きになるか、それを考えるとワクワクします。ミツバチ飼育を中心とした朝来に来てからやりたかったこと、少しずつビジョンが固まってきました。果樹の木に、この大雪で被害もありましたが、引き続き夢に向かって頑張ってます。



中家 宜嗣

Takashi Nakaie | 2017 - 2020

朝来市に移住して早いもので丸5年が経とうとしています。当時は夫婦2人でしたが、今では家族も4人+1匹(娘2人、犬1匹)に増え賑やかに過ごしております。朝来市での暮らしにも慣れてきたな～と思っていたら年末からの大雪。。。びっくりです。協力隊卒業後は映像制作を主な生業にして、市内を中心に行行政・企業・個人…色々な映像を作っています。今後は映像で朝来市や但馬の魅力を発信していきたいです。



堀之内 智裕

Tomohiro Horinouchi | 2017 - 2020

協力隊卒業後、朝来市の認定新規就農者として独立就農して2年が経ちました。少量多品目の野菜を栽培し、旬の野菜を詰め合わせて「野菜セット」として一般家庭にお届けしています。自然相手の仕事ですので、なかなか思うようにはいきませんが、野菜を食べてくれた人から美味しかった！と言ってもらえるとうれしく嬉しうです。朝来市内への配達も行っていますので、ご興味があればお声がけください！



金丸 真次郎

Shinziro Kanamaru | 2018 - 2021

現在、市の農林振興課で有害鳥獣対策員として働いていますが、最近「県版地域おこし協力隊」として、所(ところ)さんという新しい仲間が増えました！ただモノではない彼と、朝来市の農地を有害鳥獣から守っていきたいと思っています。そして、所さんが朝来市に移住されたことでハンターの平均年齢がちょっとだけ若返りました！狩猟に興味がある方は農林振興課にお問い合わせください。(写真左：金丸さん / 右：所さん)



諏訪 正和

Masakazu Suwa | 2018 - 2021

2021年7月末で任期を終え、現在は朝来市生野にある自宅縁側を活用した小中高生の居場所づくりをメインの活動にしています。(YouTube「しゅわわ邸アートスタジオ」で検索☆)小中高の通学路に面した縁側には日々誰かしらが立ち寄り小さなドラマが生まれます。ここはそれぞれが自分のままで過ごす場所。何かしてもいいし何にもしなくてもいい。どなたでも気軽に覗いてください。



田口 亮

Ryo Taguchi | 2018 - 2021

みなさんお久しぶりです。隊員を卒業して半年が経過し、ようやく生活にリズムが出てくるようになりました。いまはパートの仕事を複数かけ持ちしながら、農業をスタートさせ、実践家としての生活をはじめています。日々考え続けながら、毎日楽しみながらやっているところです。これもひとえに協力隊の三年間に仲良くしていただいた方々のおかげだと思っています。今後ともよろしく願います。



西村 知亜

Chia Nishimura | 2018 - 2021

協力隊を2021年6月で卒業し、活動当初から進めていたカフェ「そらしーど」を運営しながらミッションの1つだった「黒川温泉」で働き、大好きな土地で大好きな仲間と天日干しのお米を作り野菜を作り日々の暮らしをSNSなどで配信しています。まだまだやりたい事がたくさんあり、これからどうやって実現していこうかと毎日奮闘しています



朝来市地域おこし協力隊

朝来市では、平成 26 年度から地域おこし協力隊の制度を導入しています。これまでに 16 人の隊員が任期を終え、内 15 人が市内に定住しています。現在は計 6 名が活躍中。地域のみなさんとともに、地域を元気に、楽しく、そして、自分らしく、いきいきとがんばっています。



フォローアップ体制について

隊員それぞれのミッションが実現するように、フォローアップ研修会の開催や、協力隊が集まる定期ミーティングの実施による「悩みの共有」や状況を打開するための意見交換会などをおこなっています。



また生活の支援・活動の支援は、所属団体において相談できる者を明確にすることを心掛けています。海外から着任した隊員には市の国際交流員などによる支援をおこなっており、初めての土地でもいきいきと活動ができるよう隊員の状況に応じたきめ細やかなフォローアップ体制を整えています。

思いを確認し合う「三者研修」の実施

地域おこし協力隊制度において、隊員は最大 3 年間の期間の中で、「地域が求めるミッション」と、主に「任期後の生業づくり」につながる活動が求められます。この 2 種類の活動が必ずしも、1 つの道につながるとは限りません。



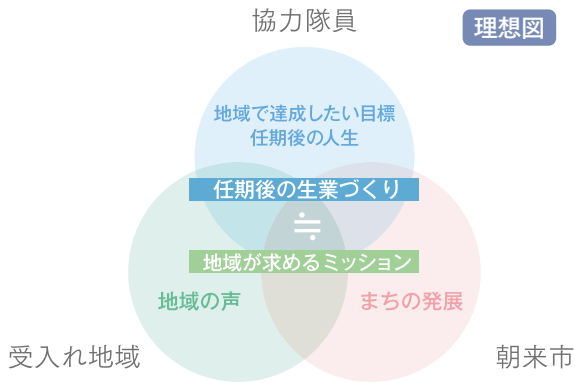
その場合「隊員」・「地域」・「自治体」という三者の思いのズレにつながらないように、それぞれが求めることや、ミッションの進捗状況などを確認する「三者研修」を実施しています。



また市長や副市長、地域の関係者の皆さんに対して活動状況を発表する場を設けることで、隊員は新たな協力者を得たり、活動の方向性の確認をしたりしながらミッションの達成を目指します。

協力隊の 3 年後の理想形と活動のバランス

「地域から求められる地域課題の解決」と「任期後の生業づくり」に関する取組の延長に、定住のための生活を支える仕事づくりが位置づけられるのが理想です。
任期終了後を見据えながら、3 者で活動のバランスを話し合います。その際に、標準的な活動の割合を概ね「5（地域支援活動）：3（定住に向けた活動）：2（協力隊のチーム活動）」となるように調整しています。



朝来市へのアクセス



電車をご利用の場合【山陰線・播但線】和田山駅下車

- ・大阪より特急で約 2 時間 10 分（福知山線経由）
- ・神戸より特急で約 2 時間（播但線経由）
- ・姫路より特急で約 1 時間（播但線経由）
- ・京都より特急で約 1 時間 50 分（山陰線経由）
- ・鳥取より特急で約 2 時間（山陰線経由）

自動車ご利用の場合

- 中国自動車道（福崎 IC）→ 播但連絡道路（和田山 IC）下車**
 - ・大阪より約 2 時間
 - ・神戸より約 1 時間 50 分
- 中国自動車道（吉川 JCT）→ 舞鶴若狭自動車道（春日 JCT）→ 北近畿豊岡自動車道（和田山 IC）下車**
 - ・大阪より約 2 時間
 - ・神戸より約 1 時間 50 分
- 国道 9 号線利用**
 - ・京都より約 2 時間 30 分
 - ・鳥取より約 2 時間



生野地域
生野鉱山のまちとして鉱山文化や景観が色濃く残る地域



和田山地域
人口が最も多く「天空の城 竹田城跡」がある地域



朝来地域
美術館や鉱山遺構 茶畑など多様な側面を持つ地域



山東地域
田園風景が広がり、旧街道沿いに酒蔵が並ぶ注目の地域





朝来市役所まちづくり協働部市民協働課

〒669-5202 兵庫県朝来市和田山町東谷 213-1

TEL 079-672-3065

www.city.asago.hyogo.jp

[制作] 朝来市役所市民協働課 / 朝来市地域おこし協力隊